

協働
連携

鳥類調査から見た湿地環境の再生

国土交通省「四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)」～中山地区鳥類調査結果～

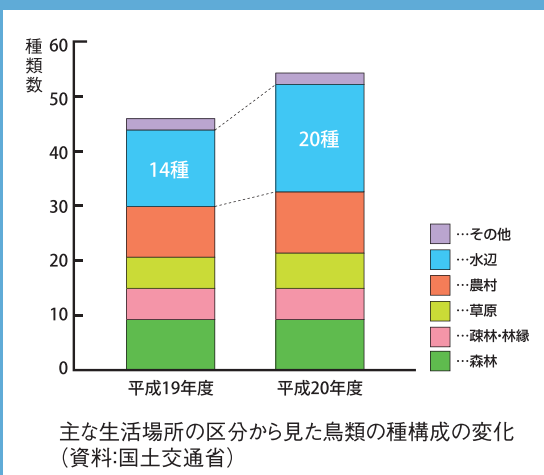
国土交通省中村河川国道事務所では、平成18年度より中筋川流域の中山地区で、えさ場とねぐらがそろった、ツルをはじめとする鳥類が越冬しやすい湿地環境の再生に向けた整備を行い、平成19年11月に工事は無事完了しました。工事が完了した平成19年度の冬とその1年後に、当地区で鳥類の調査を実施したところ、水辺を生活場所とする鳥が、平成19年度には14種確認されたのに対し、平成20年度には20種と増加していました(グラフ参照)。



2月に中山地区で確認されたケリ(澤田佳長氏撮影)



また、水辺にすむ鳥のなかでも、ゴイサギ、ダイサギ、コサギなどのサギ類のほか、幡多地区で17年ぶりに確認されたケリ(高知県の絶滅危惧IA類に指定)など、主に浅瀬や湿地をえさ場として利用する種が、平成20年度に新たに確認されたことから、中山地区の湿地環境が「ツルの里づくり」で目指す環境として、徐々に充実してきていることがわかりました。



つるの
雑記帳

四万十市での「ツルの里づくり」を全国にPR

四万十つるの里づくりの会の取り組みが 紹介されたお米が販売されています



「清流四万十こしひかり」の
パッケージ

米袋の裏面に
当会の取り組みが
紹介されています!



http://www.shimanto-tsuru.com/

大手スーパーチェーン「イトーヨーカドー」が全国で販売している平成21年度産「清流四万十こしひかり」の袋に、四万十つるの里づくりの会の取り組みが紹介されています。

イトーヨーカドーでは、人と自然が共生できる環境づくりの一環として四万十産のお米を販売し、その売上の一部を還元して四万十川保全活動に協力する取り組みを行っています。8月から販売された新米は、四万十川のきれいな水と豊かな自然環境の中で育てられたという安心感と美味しさで、さっそく全国各地にファンが広がっています。

お米をきっかけに当会の活動を知り、活動に協力してくれる人の輪がさらに広がっていきそうですね!

ツルを見かけたら
お願い



四万十川および中筋川流域で見られるツルは野鳥です。非常に用心深く常にあたりを警戒しています。特に光や物音に敏感で、一度飛び立つと遠くに飛び去ってしまい1羽も見られなくなります。自然のままのツルの生活をおびやかさないように、静かに遠くから見守って下さい。

四万十つるだよりに関するお問合せ

四万十つるの里づくりの会事務局

〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会議所内
tel:0880-34-4333 / fax:0880-34-1451
mail:naka10@cciweb.or.jp

※この会報は セブン-イレブンみどりの基金 の助成により印刷されています。



四万十つるの里づくりの会

人と自然の共生する
「ツルの里」をめざして

Vol.7

●発行日/平成21年10月30日 ●発行/四万十つるの里づくりの会
http://www.shimanto-tsuru.com

※「四万十つるだより」内のツル類の写真の一部は、澤田佳長氏(野生生物環境研究センター所長)よりご提供いただいております。

“未来のツル保護人”を育てたい 「ツルの自然体験学習会」を開催しました



四万十つるの里づくりの会では年に2回程度、地元の子どもたちを対象とした環境教育を行っています。7月15日には、写真を用いた学習会とモミ撒きによるえさ場づくりを実施しました。

学習会では、ほとんどの子どもがツルの飛来数が減った理由について知りませんでした。そこで、ツルは警戒心が非常に強い鳥で、人が近づきすぎたり、狩猟の鉄砲の音などですぐに逃げてしまうことを説明し、「みんなで協力して、ツルが飛来・越冬しやすい環境をつくっていきましょう!」と呼びかけました。

モミ撒きは、国土交通省が「四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)」を行っている中山地区で実施。子どもたちは足が泥にはまって歩きにくい湿地の中で、懸命に手を振り上げてモミを撒きました。モミは秋から冬に飛来するツルの餌となります。また、隣接する湿地では水生生物の観察も行いました。

子どもたちからは、「去年は学校の屋上から見えるくらいたくさんのツルが来ました。今年も越冬してくれることを願って、モミを撒きました」という頼もしい感想をもらいました。



元気にモミを撒く子どもたち



学習会で貴重なツルの写真を見せる澤田佳長先生
(野生生物環境研究センター所長) ▶



メダカなどたくさんの生き物が見つかり、良好な湿地環境になっていることがわかりました。

水生生物の観察 ▶

国土交通省も
協力!!



四万十川自然再生事業の説明、テントや足洗い場の準備などのお手伝いをいただきました。